

指定管理施設事業評価票(平成29年度分)

1. 施設所管課

健康福祉 部 高齢福祉 課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市日光福祉保健センター				
	所在地	日光市花石町1942-1				
指定管理者	名称	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会				
	代表者名	会長 高橋 務				
	住所	日光市今市511-1				
指定期間		平成28年4月1日 ～ 平成33年3月31日			5年間	
選定方法		公募		評価実施年	5年間のうち2年目	
施設設置目的		市民の福祉及び健康の増進を図るための総合的な活動の拠点として設置する。				
主な実施事業		・生きがいデイサービス事業 ・健康相談、機能回復訓練 ・教養、文化、ボランティア活動等の場の提供 ・訪問介護、介護予防訪問介護				

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	利用者数の増加(延べ人数)	人	27,000	26,532	27,000	25,380						
b	利用者満足度	%	80	87	80	81						
c	外部委託比率	%	20	14	20	14						
d	介護収入の増加		黒字	黒字		前年度5%増						
e	職員研修実施			消防訓練実施		消防訓練実施						
f	見回り等トラブル防止		随時実施	随時実施	随時実施	随時実施						

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
収入計 A	42,153,835	41,285,805	0	0	0
指定管理料	24,620,000	24,620,000			
利用料収入 C	12,673,144	10,236,029			
自主事業収入	25,459	29,059			
その他	4,835,232	6,400,717			
支出計 B	41,208,708	40,158,215	0	0	0
指定事業費	41,208,708	40,158,215			
内人件費 D	30,981,324	29,515,985			
内外部委託費 E	2,440,885	2,427,310			
自主事業費	0	0			
事業収支 A-B	945,127	1,127,590	0	0	0
人件費率 D/B	75.18%	73.50%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E/B	5.92%	6.04%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
※着色セルは、自動計算としている。					
補足説明	・成果指標中の外部委託委託率については、センター管理部門のみで算出				

サービス改善の状況

- ・利用者の健康維持を目的に、健康相談、簡易機能訓練を実施。
- ・趣味やボランティア活動等の場の提供による、地域住民の各種活動を支援。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	A	B
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	A	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	A	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	A	B
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
② サービスの質の評価	施設管理	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	B
		協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	A	B
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B
	利用者対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
		緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	B	B
	事業運営	避難経路が適切に確保されている。	B	B
		「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	B	B
	維持管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	B
		事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
		利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	A	B
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	A	B
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	環境配慮	事業計画に即し、受託事業を実施している。	A	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	A	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	広報活動	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	A	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	A	B
	苦情等対応	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	A	B
		協定書に従い、適切に修繕を行っている。	A	B
	利用者アンケート	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	A	B
		事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
③ 安定性	経理事務	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B
	予算執行	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
		利用実績は、目標水準である。	B	C
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
所見 (成果・課題等)	（指定管理者自己評価）		A	B
	おおむね良好といえるが、職員研修に関する面で臨時職員まで全員を対象に研修できていなかったと思います。		A	B
	今後は支所内会議の場を利用し職員研修を行っていければと思います。		A	B
	（所管課評価）		A	B
	利用者数が目標値に達しなかったが、地元ボランティア団体、企業、学校等との協力体制を強化し、生きがいデイサービス等の内容を工夫している。		A	B
	随時所内会議を行い、課題把握や改善策の協議を行い、利便性の向上に取り組んでいる。		A	B
	地域住民の各種活動を支援し、地域福祉を推進している。		A	B
前半段階評価 ※5段階評価		C	総合評価 ※3段階評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良)	=	協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B(良好)	=	協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C(要改善)	=	一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良)	=	評価項目のうち、A判定が80%以上
	B(良好)	=	A、C以外
	C(要改善)	=	評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好)	=	A、C以外
	C(要改善)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。